

再発防止への取り組み

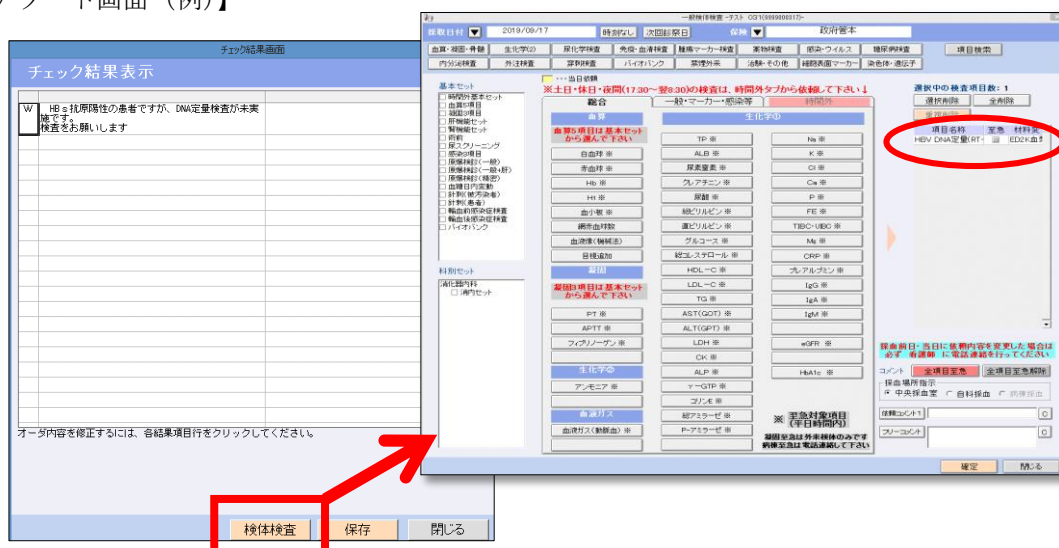
愛知県がんセンターでは、本事例の発生及び医療事故調査委員会からの提言を受け、病院長から全職員を対象に、事例に至った経緯等について説明会を行うとともに、下記のとおり再発防止への取組を行っております（令和元年11月13日時点）。

記

1 HBV-DNA モニタリングの実施にかかるシステムの構築

令和元年9月27日及び28日に電子カルテのバージョンアップを行い、化学療法のオーダー時、HBV-DNAの検査が一定期間行われていない場合に、アラートが表示されて検査オーダーに繋がるシステムを導入しました。

【アラート画面（例）】



また、院内の指針を改訂して消化器内科・内視鏡部へのコンサルテーションを推進し、再活性化リスクの高い薬については医療安全管理室でも検査漏れがないか確認を行うなど、主治医だけでなく複数の部署の職員が、病院のチームとしてB型肝炎の再活性化を起こさないために取り組む体制を構築しました。

2 職員に対する周知

全職員に回覧される医療安全管理室だよりや各種会議にて事例について周知し、適切な検査オーダーや治療介入等について注意喚起を行いました。今回の事例を風化させないよう、今後も、全職員に対する周知の機会を設ける予定です。